

11月



新羽小だより

令和6年(2024年)10月29日
第608号
横浜市立新羽小学校
Tel 543-8871(8872)
Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa>

「チロ」からのメッセージ

副校長 徳田 達哉

本校では、月に1回程度、読み聞かせボランティア「あんでるせん」の方々が来校し、各学年、学級で読み聞かせをさせていただきます。10月21日(月)には実際にあった出来事をもとにして創作された紙芝居を6年生に読んでいただきました。主人公の名前は、「チロ」。チロは、学援隊として毎日登校する子どもたちを見守ってくださっている渡部さんが飼っていた犬です。2022年5月に亡くなるまでの17年間、渡部さんとともに「学ワン隊」として、新羽小の子どもたちを見守り続けてきました。もう立派な大人になった方も小学生時代に遊んだチロのことを覚えているそうです。6年生の子どもたちは、4年生の途中まで毎朝チロと会っていました。みんなその頃の自分とチロのことを思い出し、紙芝居の世界に引き込まれていました。



私はこの学校に赴任して半年ほどになります。その中で一番驚いているのは、子どもたちの「気持ちのよさ」です。昨今、周囲の気持ちを考えて上手にコミュニケーションをとることが苦手な子どもが多いといわれます。しかし、新羽の子どもたちは、大人に対する礼儀やマナー等が身につっていて、様々な大人たちと上手に関わることができると感じています。校外学習でお世話になった方々からも「なんてあいさつが上手な子どもたちなのでしょう。」「こんなにしっかりと話を聞いてくれて気持ちがいいです。」とお褒めの言葉をいただくことも多いです。この新羽の子どもたちの「気持ちのよさ」を支えているもの、それはもちろん保護者の方のご家庭でのご指導があることは言うまでもありません。それに加えて、地域からのたくさんの「思い」があると強く感じます。紙芝居の中にこのようなセリフがありました「新羽には、子どもたちの成長や学校生活を見守り支えてくださる大人がたくさんいます。」その一人ひとりの「思い」を受けて、新羽の子どもたちは、安心してのびのびと成長しています。



11月8日(金)の音楽会に向けて、今日も学校中に子どもたちの個性あふれる歌声が響いています。きっとチロのところにもこの歌声が届いていることでしょう。